



一緒につくろう おおいた

去る2月24日投開票の市議会議員選挙では、多くの皆様のご支援をいただき5期目の当選を果たすことができました。ご支援いただいた皆さんの負託に応えるのが私の責務であり、今後とも多くの市民の声や思いをしっかりと受け止めて、これからの大分市を一緒につくってまいります。



議会での役割

● 建設常任委員会副委員長

土木建築部、都市計画部、下水道部及び水道局の所管に属する事項として、道路橋梁の整備や都市計画、上下水道の整備など市民生活に直結した諸議案等の審査を行う

- 子ども育成・行政改革推進特別委員会副委員長
- 大分市同和対策協議会委員
- 大分市屋外広告物審議会委員

平成25年 第1回 大分市議会定例会（3.11～28）が開催され「市営住宅におけるLPガスの供給について」「住宅の改修・改造について」質問しました。質問・答弁は以下のとおりです。

市営住宅におけるLPガス（いわゆるプロパンガス）の供給について

先日、市民の方から「市営住宅によってLPガスの価格が違う」という話を聞きました。市営住宅は一度入居してしまうと、他の市営住宅に移り住むということがあまりないので、LPガスの価格が違うということを知らないというのが、実態ではないでしょうか。

低所得者向けに提供されている市営住宅において、LPガスの価格に差があるというのはいかがなものでしょうか。どれくらいの差があるかわかりませんが、何十年も住み続けると結構な額になると思います。

質問

- ①LPガスを供給している市営住宅はどれくらいあるのでしょうか。また、現状について。
- ②価格に差があることから、不公平感があると思うが見解を。

答弁

①75団地5,212戸のうち、53団地の1,967戸、約38%が、LPガスを使用している。LPガスは、日常生活の欠かせないものであると同時に、高い可燃性を有す危険物である。このため本市では、ほとんどの市営住宅でガスの協同組合と契約し、安定供給と安全面の確保を図っているが、各団地での供給は、この協同組合により事業者が個々に選定され、その事業者と入居者との使用契約によっているのが現状です。

②LPガスの供給は、事業者と入居者との契約であることから、入居者が価格差により選択することも可能と思われる。しかし、過度な料金競争等により、入居者の日常生活に必要なガスの安定供給が損なわれることや、緊急時での迅速な対応等への課題も懸念されるところでもあり、今後調査も行いながら、どのような方法が望ましいか、関係者とも協議し検討したい。

住宅の改修・改造について

質問

①在宅高齢者住宅改造費助成事業、在宅心身障害者住宅設備改造費補助金、大分市木造住宅耐震化促進事業補助金交付事業について、それぞれ、ここ3年間の利用実績は。

②市民の中にはこれらの制度を知らない人も多いと思うが、これまでどのように広報してきたのか、また今後どのように周知していくのか。これらはとてもいい制度だと思うが、今後拡充する考えはないか。

③これらの事業は、福祉保健部と都市計画部と別々に所管されているが、建物の改修や改造をする場合、高齢者に適するように改造することと、耐震化などは別々にせず、1回に行うものと思われる。これらの制度を利用する立場からして、3つの事業を中心に全体を一本化する、あるいは窓口を一つにするようなことはできないか。



答弁

①在宅高齢者住宅改造費助成事業は、平成22年度が69件1,122万1千円、23年度が79件1,285万4千円、24年度は97件1,559万5千円の見込み。在宅心身障害者住宅設備改造費補助金事業は、22年度が48件2,377万3千円、23年度が51件2,440万1千円、24年度が62件2,491万4千円。木造住宅耐震化促進事業補助金交付事業のうち、耐震診断は22年度が3件7万8千円、23年度が8件23万1千円、24年度が10件29万円、耐震改修は22年度が10件600万円、23年度が10件543万円、24年度が22件1,318万円。

②市報やホームページ、広報車による広報活動、地域包括支援センターによる広報・相談活動、障害ガイドブック、パンフレットなどの配布により周知を図っている。制度の拡充は、実績及び伸び率等を勘案するとともに市民ニーズも考慮しながら予算の確保等を含め検討する。

③これらの事業は、それぞれの分野で工事の目的や内容の調査、また、該当資格の適否の審査などの専門性が求められ、現行の各課による窓口対応が最も市民サービスに適したものであると考えられることから、窓口の一本化は困難である。

たかのっ走る



2月

26日 当選証書授与式

3月

1日 連合大分春闘総決起集会
5日 農業委員会定期総会
7日 大分県立新生支援学校卒業式

3月

8日 植田南中学校卒業式
8日 農業委員会農政部会
10日 全市一斉総合防災訓練
13日 あなたのまちの郵便局月例会
(ボウリング)
16日 フレンド保育園卒園式
24日 田尻南2丁目自治会総会

社会民主クラブ

同じ8名のメンバーで

この3月より新たな期の議会がスタートしました。私たち社会民主クラブのメンバー・8名は、変わることなく引き続き議会で活動できることになりました。

今後とも市民の目線で頑張る決意を新たにしています。



(前列左より) 篠田良行、日小田良二、指原健一、安東房吉
(後方左より) 帆秋誠悟、高野博幸、宮邊和弘、松下清高

3月議会

一般会計予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1,617億円

◎地域経済活性化に225億円の普通建設事業費(3月補正も合わせて)

市議会議員の改選後最初の予算である、2013年度予算を決める3月議会が、3月11日～28日まで行われました。

予算 承認された主な事業と予算は次のとおりです。

◎**地域経済活性化対策の普通建設事業費・・・225億円**(3月補正と合わせて)

地域経済の活性化のために、小中学校校舎の耐震化、道路改良事業、駅南区画整理事業、道路・橋梁新設改良事業などを行います。

◎**中心市街地社会実験・・・・・・・・・・・・・・・・7,300万円**

中央通りの減車線化と歩行空間拡充で、にぎわいを創出する実証実験をします。

◎**駅南公共団体区画整理事業・・・・・・・・20億4,000万円**

駅周辺の道路網を再編し、南北市街地の一体化を図り、シンボルロードの管理運営協議会の支援、ザビエル像の設置などを行います。

◎**大友遺跡公有化事業・・・・・・・・5億800万円**

史跡指定地内の土地の買い上げをします。
(今回2,900㎡、既公有化6万㎡)

◎**大友プロモーション事業・・・・・・・・2,000万円**

大友宗麟、大友氏遺跡を本市の顔として大分市を全国に情報発信します。

◎**被災者救援物資等備蓄事業・・・5,100万円**

大規模災害に備え、食料や生活必需品等を防災拠点となる小中学校等に備蓄します。

◎(仮称) **男女共同参画センター整備事業・・・・・・・・2,070万円**

男女共同参画社会実現のため、啓発活動や団体支援をするセンターをコンパルホールの2階に設置します。



男女共同参画センター
設置予定(コンパル2階)

◎老朽危険空き家等除却促進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・500万円

長期間維持管理されていない危険な空き屋について、条例で所有者の責務を定め、適正管理が困難な場合、空き家を除却する費用の一部を助成します。

◎高齢者ワンコインバス事業(65歳以上に)・・・・・・・・・・2億9,000万円

今まで対象年齢は70歳以上でしたが、今年7月より65歳以上に拡大します。

◎子ども医療費助成事業(就学前までに拡大)・・・・・・・・11億4,046万円

これまで3歳まで無料であった子どもの医療費を、就学前の年齢の子どもまで拡大します。(10月より)

◎不登校対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・870万円

スクールソーシャルワーカー(教育分野に知識のある社会福祉士)を教育相談センターに3名配置し、学校や家庭への助言等を通し、不登校対策に取り組みます。



子ども教育相談センター

一般議案

◎農地災害復旧事業分担金徴収条例の制定

農地災害の発生時に農地の所有者等の事業費の負担について明確化し、その軽減を図るための条例です。

◎新型インフルエンザ等対策本部条例の制定

法律に基づいて、新型インフルエンザ等への対策についての条例を制定します。

◎市職員の給与に関する条例の一部改正

給与の適正化のため、制度の見直しをし、給料の減額措置(平均5~6%減)をします。

代表質問

3月議会では各会派の代表質問がありますが、我が会派では、帆秋誠悟議員が行いました。市民協働のまちづくりや、財政問題、平和憲法、防災体制、教育などについて、市長や教育長の見解を質しました。

議員の委員会構成が変わりました。

◎副議長・篠田良行氏

市議選が終わり、各議員の所属委員会も編成替えが行われました。我が会派の各議員の所属委員会は次のとおりです。

会派内の役職
団 長・指 原 健 一
副団長・安 東 房 吉
幹事長・日小田 良 二

指 原 健 一	文教常任委員会、総合交通対策特別委員会、議運
日小田 良 二	総務常任委員会、子ども育成行革特別委員会、議運副委員長
篠 田 良 行	厚生常任委員会、副議長
安 東 房 吉	厚生常任委員会、地域活性化対策特別委員会
高 野 博 幸	建設常任委員会・副委員長、子ども育成行革特別委員会副委員長
宮 邊 和 弘	経済常任委員会、地域活性化対策特別委員会・委員長
松 下 清 高	文教常任委員会・委員長、総合交通対策特別委員会
帆 秋 誠 悟	総務常任委員会・副委員長、子ども育成行革特別委員会